

# 日本原子力学会

## 水化学部会 第23回全体会議

開催日時: 2024年3月15日(金) 13:35~14:00

開催場所: 三菱重工株式会社 横浜ビル33階3310会議室

### - 議 事 次 第 -

#### (1) 委員の退任について

#### (2) 活動報告

- ① 運営小委員会
- ② 部会賞選考
- ③ 企画担当
- ④ 企画運営WG(旧 定例研究会WG)
- ⑤ サマーセミナーWG
- ⑥ 広報担当
- ⑦ 「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告
- ⑧ 水化学部会会計報告(2023年度)

#### (3) 各細則の改訂について

- ① 水化学部会運営小委員会細則の改訂
- ② 水化学部会部会賞細則の改訂

## (1) 委員の退任について

# 委員の退任及び代行者の選任

退任委員:

代行者:

- 宮澤 晃 (東京電力HD)  $\longrightarrow$  平 純一 (東京電力HD)

2023.6.15 運営小委員会において選任

- 山本 誠二 (東芝ESS)  $\longrightarrow$  柴崎 理 (東芝ESS)

2023.12.18 運営小委員会において選任

## (2) 活動報告

# ① 運営小委員会 活動報告

### 【第51回】

開催日時：令和5年6月15日（木） 10:00～12:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

#### 議題：

- ・ 次回定例研究会について
- ・ 今後の企画セッションについて
- ・ 2023年度部会報の内容案について
- ・ NPC2023報告書について
- ・ 2023年第8回水化学サマーセミナーの準備状況について
- ・ 学会のセミナー運用ルール変更について
- ・ 2024年三部会合同夏期セミナー（材料部会主催）について
- ・ 部会賞の選考委員について
- ・ 「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告
- ・ 若手検討チームの状況報告
- ・ ホームページ管理WGのメンバー変更及び活動報告について
- ・ 会友を対象とした部会・連絡会情報発信のお願い
- ・ ポジション・ステートメント改革に伴うお願い
- ・ 水・蒸気性質シンポジウム（第2回会告）の後援について

# ①運営小委員会 活動報告

## 【第52回】

開催日時：令和5年10月26日（木） 9:30～12:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

議題：

- ・ 今後の定例研究会について
- ・ 2024年春の年会の企画セッションについて
- ・ 2023年度部会報について
- ・ NPC2023参加報告について
- ・ 若手検討チームの状況報告
- ・ 2023年第8回水化学サマーセミナー実施報告
- ・ サマーセミナーのパネルディスカッションでの若手の意見への対応について
- ・ 2024年三部会合同夏期セミナー（材料部会主催）について
- ・ 部会賞の選考委員の選任について
- ・ 運営小委員会細則の改定について
- ・ 「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告
- ・ 部会全体会議実施記録の掲載等について
- ・ 部会等運営委員会からの連絡
- ・ NPCコアメンバー会議報告（NPC2025、NPC2027の開催案内、およびNPC229日本開催の打診について）
- ・ 水化学への原子力2023安全の考え方の取り込みについて

# ①運営小委員会 活動報告

## 【第53回】

開催日時：令和5年12月18日（月） 9:00～10:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

議題：

- 委員の交代（代行者の選任）について
- 企画担当責任者及び企画運営WG主査の選任について
- 次回定例研究会の開催方法について
- 部会全体会議の開催について
- 2024年度予算申請説明会の報告

# ①運営小委員会 活動報告

## 【第54回】

開催日時：令和6年3月15日（金） 10:00～12:00

開催場所：三菱重工株式会社 横浜ビル33階3305会議室

議題：

- 第23回全体会議資料について
- 今後の定例研究会について
- 次回以降の企画セッションについて
- 2024年部会報の発行準備状況について
- 2023年度会計報告、2024年度予算案について
- 2024年三部会合同夏期セミナー（材料部会主催）について
- 2025年度サマーセミナーWGについて
- 「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告
- 2023年度事業報告について

# ②2023年水化学部会賞

## 【奨励賞】

該当者なし

## 【講演賞】

氏名：阿部 剛之氏（日本原子力発電）

講演名：An Evaluation on Corrosion in the Primary System

During Long-Term Outage at Tokai-II

（AWC2022において発表）

氏名：大橋 利正氏（日立製作所）

講演名：炭素鋼配管の流れ加速型腐食に及ぼす酸素注入と白金付着の影響

（日本原子力学会 2023年秋の大会において発表）

# ③ 企画担当 活動計画案

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
水化学国際会議 ラジオリスWS		英 (10/2-7) ▼		米(9/9-14) ▼		仏(9/27-10/2) ▼	仏(9/27-10/2) ▼		仏 (9/25-9/29) ▼		韓国 ▼
アジア水化学 シンポジウム	インド(9/2-4) ▼		中国(9/26-28) ▼		韓国(9/24-27) ▼		仙台(10/19) ▼	仙台 (9/13-16) ▼	リモート	インド (オンライン) ▼	
原子力学会 企画セッション 部会総会	静岡大学 ▼ 電子線加速器	久留米大学 ▼ 1F廃止措置	北海道大学 ▼ 1F廃止措置	岡山大学 ▼	富山大学 ▼ 水化学ロードマップ	九州大学 ▼	オンライン ▼	茨城大学 ▼	名古屋大学 ▼	東北大学 ▼	
	東北大学 ▼ FP学動&ソー スターム解析	東海大学 ▼	大阪大学 ▼	茨城大学 ▼	福島大学 ▼	オンライン ▼ 福島廃炉への 水化学	オンライン ▼ 水化学標準の活用と 改定に向けて	東京大学 ▼	近畿大学 ▼	オンライン ▼	
サマー・セミナー 夏期見学会		MHI+九州電力 ▼ 第七回薩摩川内 (7/13-15)  ▼ 三部会合同夏期セミナー @芦原温泉(7/8-10) (材料部会主催)		東芝+中部電力 ▼ 三部会合同夏期セミナー @掛川(8/6-8) (水化学部会主催)		日立GENE+東京電力 ▼ 第八回いわき (8/3-5)	三部会合同夏期セミナー (8/10,11) ▼ (核燃料部会主催)		日立GENE+東電 ▼ 第八回日立(8/2-4)		▼ 第九回
定例研究会	オルガノ ▼ 除染・廃炉技術	東芝 ▼ 1F関連	JAEA ▼ SWIS	電中研 ▼ FAC	日立GENE ▼ ラジオリス	東芝 ▼	Web ▼ PWR二次系	Web ▼ 放射線	Web ▼	Web ▼	
	四国電力 ▼ 再稼働対応	関西電力 ▼ 被ばく低減	四国電力 ▼ 再稼働対応	東北電力 ▼ 被ばく低減	北陸電力 ▼ 補機冷却水系	中部電力 ▼	Web ▼ 多角的な原子力利用と水化学	Web ▼	Web ▼	Web ▼	
	日立GENE ▼ 人材育成	日本原電 ▼ NPC2016, 水化学RM	東京電力 ▼ 廃炉・ 廃止措置	オルガノ ▼ 水化学の 最新動向	日本原電 ▼ PWR二次系	東芝(Web) ▼ 燃料材料と 水化学	Web ▼ 部会賞受賞 記念講演	MHI ▼ PWR水化学	MHI+運営 ▼ 小委員	対面 ▼	



## ④企画運営WG(旧 定例研究会WG) 活動報告(1/2)

※ 講演概要は、部会ホームページに掲載

### 【第45回】

開催月日：2023年6月15日（木）

開催場所：Web

基調テーマ：「リチウムの同位体分離濃縮技術」

講演者：三菱重工 前田、名古屋大学 杉山先生、  
(株)アトックス 長谷川氏、大阪大学 岸本先生、JAEA 堀口氏

### 【第46回】

開催月日：2023年10月26日（木）

開催場所：Web

基調テーマ：「福島第一原子力発電所におけるFP挙動について」

講演者：日立 和田氏、JAEA 内田氏、JAEA 唐澤氏

## ④企画運営WG(旧 定例研究会WG) 活動報告(2/2)

※ 講演概要は、部会ホームページに掲載

### 【第47回】

開催月日：2024年3月15日（金）

開催場所：三菱重工 横浜ビル

水化学部会賞受賞記念講演：日本原子力発電(株) 阿部氏

基調テーマ：「ラジオリシス影響下の材料腐食と防食」

講演者：東北大学 渡邊先生、JAEA 端氏、東北大学 阿部先生

### ○ 今後の予定

第48回は2024年6月頃を予定、詳細は今後調整。

## ⑤サマーセミナーWG 活動報告

### 2023年水化学部会サマーセミナーの実施

- 基調テーマ「今後の水化学の進むべき方向について（発電炉の運用高度化と1F廃炉への貢献）」
- 会場：日立シビックセンター
- 開催日時：2023年8月2日（水）～8月4日（金）
- プログラム概要  
8月2日：基調講演・ポスターセッション・セッション1  
8月3日：セッション2～セッション4  
8月4日：東京電力HD(株) 福島第一原子力発電所 見学会
- 実施報告：ホームページに掲載済

### 次回以降のサマーセミナーの予定

- 2024年：3部会合同夏期セミナー（幹事：材料部会）  
2024年8月5日（月）～8月7日（水）
- 2025年：水化学部会サマーセミナー（新WGで対応）

# ⑥ 広報担当 活動報告

## 1. 水化学部会ホームページの管理

### ◆ 水化学部会活動報告等の水化学部会員他への情報発信

- ✓ 部会賞の募集や受賞者の紹介
- ✓ 運営小委員会議事録、定例研究会他掲載による活動報告
- ✓ NPC2023実施報告、NPC2025開催案内の掲載
- ✓ 技術情報掲載開始

「水化学とは」～水化学部会が取り扱う技術分野について

「参考文献」～水化学管理指針、ハンドブック、解説記事等の紹介

## 2. 水化学部会報 第15号の発行準備 (2024年4月予定)

- 1) 巻頭言
- 2) 特別寄稿:「核分裂生成物挙動」研究専門委員会の歩み
- 3) 部会運営に対する若手有志からの提言書
- 4) 2023年度部会賞受賞者の感想と研究内容の概要
- 5) 2023年度 第8回水化学サマーセミナー at 日立
- 6) NPC2023報告・参加雑感
- 7) 水化学部会活動報告
- 8) 新任委員紹介(端委員、前田委員)
- 9) 編集後記

# ⑦「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会 活動報告

## 1. 「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会

- 2021年6月より、「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会の活動を開始し、2023年3月で第1期を終了。延長申請を行い、さらに2025年3月まで第2期を継続。
- 10部会横断で活動中(委員約50名)。主査は勝村庸介・東大名誉教授。

## 2. この1年間の活動報告

- 委員会本会議**: 第7回(2023/6/7)、第8回(2023/11/6)、第9回(2024/3/11)
- 幹事会**: 第17回(2023/4/25)、第18回(2023/5/30)、第19回(2024/10/2)、第20回(2024/2/2)
- WG1: FPの量・物質収支と化学形態**  
第1回(2023/7/28)、第2回(2023/9/13)、第3回(2023/11/22)、第4回(2024/1/10)
- WG2: サンプルングの目的とデータ活用**  
第1回(2023/7/10)、第2回(2023/9/21)、第3回(2023/12/22)
- WG3: 環境への移行経路**  
第1回(2023/6/2)、第2回(2023/8/8)、第3回(2023/9/29)、第4回(2023/12/12)、第5回(2024/1/29)

## 3. 企画セッション

- 2024年春の年会**で企画セッション開催 2024年3月28日(木)13:00-14:30 E会場  
「1F廃炉作業への貢献とソースターム予測技術向上におけるFP挙動に関する  
技術課題に対する取り組み」 座長 東芝エネルギーシステムズ・高木幹事
- (1)本員会の目的と活動方針並びに委員会での議論紹介 JAEA・三輪幹事
- (2)WG3「環境への移行経路の特定」 JAEA・唐澤幹事
- (3)WG2「サンプルングの目的とデータ活用」 三菱重工業・宮原幹事
- (4)WG1「FPの量・物質収支と化学形態」 日立製作所・和田幹事
- (5)総合討論 全 員

# ⑧ 水化学部会 会計報告 (2023年度)

単位：円

			予算計上額	実績見込み※1	備考
2023 年度	通 常	収益	113,000	113,000	配分金,繰越金
				5,500	報告書売上
		支出	57,000	13,285	レンタルサーバー代 部会賞の経費
				319	通信費
	セミナーの 繰越金	収入	—	—	4月以降に計算 (本部が20%以上徴収)
※1：2024年1月E現在の実績ベース					
			収入	支出	備考
2024 年度	通 常		113,000	113,000	謝金、部会賞経費、レンタルサーバー代
	2022年度繰越			3,170,730	2023年3月末の実績

### (3)各細則の改訂について

## 水化学部会運営小委員会細則の改訂

### ① 経緯・目的

現行の水化学部会運営小委員会細則には、水化学部会運営小委員会の成立条件、審議事項の承認方法などが明記されていないため、これらを規定することを目的とする。

### ② 改訂案

---

## 水化学部会運営小委員会細則

(目的)

第1条 本細則は、「水化学部会規約」(1002-16)第1条、第3条および第6条に基づき、水化学部会(以下、「部会」という)内に設置する運営小委員会の構成、ならびに運営委員および監事の選任方法について定めることを目的とする。

# 水化学部会運営小委員会細則の改訂(続き)

(構成)

第2条 運営小委員会は部会長1名、副部会長4名以内、および担当委員20名以内の運営委員で構成する。

2 運営小委員会は、以下の各号にあげる担当委員を設ける。各委員の担当は運営委員間の互選により決定する。なお、運営委員は複数の担当委員を兼任することができる。

(1) 庶務委員

(2) 企画担当委員

(3) 広報・編集担当委員

(4) 財務担当委員

(5) 水化学部会 部会賞選考小委員会

3 運営委員とは別に部会員から監事2名以内を設ける。

4 運営小委員会の運営を支援するため、部会長が推薦する者を顧問とする。また、特に顕著な貢献のあったものを特別顧問とする。

5 部会長は、必要に応じて運営小委員会に個別課題に対応するワーキンググループを設置する。ワーキンググループの責任者は運営委員間の互選により決定する。ワーキンググループのメンバーは、運営委員による推薦もしくは水化学部会ホームページからの公募により決定する。

(監事)

第3条 監事は運営小委員会に出席し、部会活動、ワーキンググループおよび小委員会活動が適切に執行されていることの監理をおこなう。

2 監事は運営小委員会が合理的かつ効率的に運営されるよう、部会長に意見を述べることができる。

(任期)

第4条 運営委員および監事の任期は「水化学部会規約」(1002-16)に定めるとおりとする。

2 やむを得ぬ理由により任期途中で退任する場合には、代行者を立てることができる。代行者は運営小委員会で選任し、部会員または部会全体会議に報告する。

(選挙)

第5条 運営委員および監事の選任を行うため、部会員による選挙をおこなう。

(選挙管理小委員会)



# 水化学部会運営小委員会細則の改訂(続き)

第6条 選挙を公正に執行管理するため、部会に選挙管理小委員会を置く。

2 運営小委員会は、適切な時期に選挙管理小委員会を発足させなければならない。

3 選挙管理小委員会は、次の各号にあげる委員によって構成し、運営委員および監事の選挙に必要な業務をおこなう。

(1) 選挙管理小委員会委員長1名

(2) 選挙管理委員2名

4 選挙管理小委員会委員長は部会員より選任し、選挙管理委員は選挙管理小委員会委員長が部会員から選任する。

(候補者の推薦)

第7条 運営委員および監事の候補者は、部会員であって他に部会員2名以上が推薦するものとする。ただし、候補者数が定員に満たない場合は運営小委員会が推薦する者も候補者とする。

2 運営委員および監事の候補者推薦は、部会長候補者、副部会長候補者、担当委員候補者および監事候補者に分けておこなう。

3 候補者の受付期間は2週間とする。

4 選挙管理小委員会委員長および選挙管理委員は、運営委員および監事の候補者になることができない。

(選挙方法)

第8条 選挙は、部会長候補者、副部会長候補者、担当委員候補者および監事候補者に対してそれぞれ信任投票方式で、郵送、電子メール等による投票方法でおこなう。なお、投票は記入方式にて行う。

2 投票期間は2週間とする。

3 部会員は候補者に対して、信任票、不信任票、棄権票のいずれかを投ずる。

4 有効投票数の過半数以上の信任を獲得した候補者で、獲得信任票が多い候補者を順に当選者とする。

5 獲得信任票が同数であった場合は、不信任票が少ない候補者を順に当選者とし、信任票および不信任票がともに同数であった場合は棄権票が少ない候補者を順に当選者とする。

(選挙結果の報告)

第9条 選挙管理小委員会委員長は、運営委員および監事の候補者の選挙後、その結果をすみやかに部会員ならびに部会全体会議に報告しなければならない。

# 水化学部会運営小委員会細則の改訂(続き)

(担当運営委員)

第10条 選挙管理小委員会の発足その他については、主に庶務委員が発議の任にあたる。

成立条件の明記

(運営小委員会の成立)

第11条 運営小委員会の成立には、部会長または副部会長の1名以上の出席に加え、運営委員の3分の2以上の出席を必要とする。

承認方法の明記

(審議、承認)

第12条 議決が必要な審議事項については、運営委員の2/3以上の賛成をもって承認とする。

2 運営小委員会の円滑な決議および次回運営小委員会までの必要事項の審議を可能とするため、部会長がメール審議可能と判断した事項についてはメール審議により議決することができる。

(例外処理)

第13条 本細則および関連する規則類に定めのない事態が生じたときは、運営小委員会あるいは選挙管理小委員会は、関連する規則類の趣旨を尊重して運営小委員会にて審議し、運営委員の3分の2以上の賛成をもって適切な措置を取ることができる。

メール審議の追記

ただし、部会全体会議に報告し、その出席者3分の2以上の了承を得なければならない。

(改定)

第14条 本細則の改定は、運営小委員会が起案し、水化学部会全体会議の承認を得たのち、部会等運営委員会および理事会に報告するものとする。

# 水化学部会部会賞細則の改訂

## ① 経緯・目的

現行の水化学部会部会賞細則には、委員の任期途中での退任等の運用上の不都合に対応できていないため、これらを規定することを目的とする。

## ② 改訂案

---

### 水化学部会部会賞細則

(目的)

第1条 本細則は「水化学部会規約」第1条，第3条ならびに「部会・連絡会・支部表彰制度規程」(0110)第1条に基づき，水化学部会部会賞（以下，「部会賞」という）について定めることを目的とする。

(趣旨)

第2条 若手技術者による水化学部会活動への貢献を顕彰し同分野の発展をうながすことを目的として，部会賞を授与する。

# 水化学部会部会賞細則の改訂(続き)

(表彰の種類, 対象, 要件)

第3条 部会賞に下記賞を設ける。

2 奨励賞：原子力発電に係る水化学分野に関する顕著な学術または技術上の業績のあった40歳以下（下記（1）の論文発表時）の水化学部会員または学生部会員（※）に授与する。

（※）応募時点で水化学部会員または学生部会員でない場合でも、応募後速やかに入会した者に対しては授与する。

（3） 過去3年以内に、応募内容に深く関連する筆頭著者論文を査読付きの学術誌に1報以上発表しており、同様の研究内容で（一社）日本原子力学会の他部会の奨励賞等を受賞していない個人のうち過去に同賞を受賞していない個人を対象とする。

（4） 原則として、毎年3名以内とする。

3 講演賞：日本原子力学会または水化学部会が主催もしくは共催する行事において、原子力発電にかかる水化学分野の研究・技術開発成果について、優れた口頭発表をおこなった40歳以下（発表時）の水化学部会員または学生部会員（※）に授与する。

（※）応募時点で水化学部会員または学生部会員でない場合でも、応募後速やかに入会した者に対しても授与する。

（3） 国際会議（Nuclear Plant Chemistry Conference (NPC), Symposium on Water Chemistry and Corrosion in Nuclear Power Plants in Asia (AWC)) および日本原子力学会「春の年会」, 「秋の大会」で口頭発表した個人のうち過去に同賞を受賞していない個人, 且つ過去に同一の内容で奨励賞を受賞していない個人を対象とする。なお、過去3年間の行事（講演）を対象とする。

（4） 原則として、毎年3名以内とする。

# 水化学部会部会賞細則の改訂(続き)

(選考方法)

第4条 部会賞選考小委員会を設置する。選考小委員会は、部会長が指名する運営小委員会委員(代行者を含む) 6名以上で構成する。

代行者の追記

2 選考対象者あるいは推薦者となった者は、~~選考小委員会の委員にはなれない。~~該当する審査に限り選考作業に加わることができない。

選考プロセスの明確化

3 委員の辞退等により選考小委員会の委員数が6名を下回った場合には、委員を追加指名する。

4 委員名は選考時には公表しないこととし、公正を期すため選考小委員会の任期後に公表する。

5 選考小委員会は、水化学部会ホームページ、水化学部会連絡メールにより奨励賞および講演賞の募集を公告し部会員に周知し、水化学部会員に水化学部会賞(奨励賞)および水化学部会賞(講演賞)受賞候補者の推薦(自薦および他薦)を求める。

なお、複数の著者がいる論文を対象として奨励賞に推薦された者については、被推薦者の貢献度について、推薦者に説明を求めることができる。

(表彰時期)

第5条 奨励賞および講演賞の表彰は、部会全体会議にておこなう。

(選考結果報告)

第6条 表彰決定後、選考過程および選考結果を理事会へ報告する。

(改定)

第7条 本細則の改定は、水化学部会全体会議にて決定し、部会等運営委員会ならびに理事会に報告するものとする。

(その他)

第8条 本細則で定められていない事項については、運営小委員会において協議する。